

■上原勇作 陸軍軍人。日本における工兵の創始者。大正政変起し、一人で陸軍の三長官を兼任するに至る。

うへはらゆうさく

松下村塾・・1856＝

日向国都城(宮崎県都城市)の鹿児島藩の支藩藩士竜岡資弦の次男に生まれ、

同藩の上原家を継いだ。

桜田門外変・1860＝4歳：

薩摩藩士密航1865＝9歳：

明治維新・・1868＝12歳：

明治6年政変1873＝17歳：

佐賀の乱・・1874＝18歳：

琉球処分・・1879＝23歳：\_陸軍士官学校を卒業し工兵少尉となり、

明治14年政変1881＝25歳：\_フランスに留学、

岩倉具視没・1883＝27歳：

内閣発足・・1885＝29歳：帰国後、

陸士教官、参謀本部員などを経て、

帝国憲法発布1889＝33歳：

大本教・・・1892＝36歳：

日清戦争始・1894＝38歳：\_日清戦争には第1軍参謀として参加。

日清戦争終・1895＝39歳：\_戦後、参謀本部各部長を歴任し、

教育関係の職を歴任し、軍隊教育の画一化と規格化を図る一方、

\_フランス工兵の技術を日本に輸入して、日本における工兵を創始、

田中正造直訴1901＝45歳：\*工兵監となる。

日露戦争始・1904＝48歳：\_日露戦争には第4軍参謀長として参加。

日露戦争終・1905＝49歳：\_戦後、中將に進み男爵となる。

第七、第十四師団長を歴任した後、

韓国併合・・1910＝54歳：

明治天皇没・1912＝56歳：\*陸相に就任。第2次西園寺内閣の緊縮方針に対立して2個師団の増設を要求し、それが容れられなかったため同年単独で辞職して内閣を倒し、<大正政変>のきっかけを作った。

その後第三師団長、

第一次大戦始1914＝58歳：\_教育総監を経て、

21ヶ条要求・1915＝59歳：\_大將に進み、参謀総長となる。

ベルリン条約・1919＝63歳：

原敬首相暗殺1921＝65歳：\*元帥に列せられ、子爵に上り、一人で陸軍の三長官を兼任するに至る。

関東大震災・1923＝67歳：\*参謀総長を退任。以後、陸軍部内薩摩閥の長老として長州閥と対立し、

護憲三派圧勝1924＝68歳：清浦内閣の陸相に福田雅太郎を推したが、田中前陸相の推す宇垣一成陸相が実現した。

\_宇垣の進めた4個師団の廃止に反対し、武藤信義・荒木貞夫・真崎甚三郎など九州出身者を率いて宇垣閥と事ごとに対立し、後の皇道派の系譜に連なる派閥の統領となったが、

共産党事件・1928＝72歳：

満州事変・・1931＝75歳：

国際連盟脱退1933＝77歳：\_没した。

妻が薩摩出身の元帥野津道貫の娘だったこともあり、藩閥郷党意識が強かったという。